

NEWS RELEASE

梓設計の国内全拠点施設の使用電力を 実質再エネ100%に切り替えました

株式会社梓設計（本社：東京都大田区、代表取締役社長：杉谷 文彦、以下「梓設計」）は、このたび2021年度の梓設計国内全拠点で使用した電力量（年間約1,000,000kWh）に相当する、再生可能エネルギー由来の「FIT 非化石証書」を6月に購入し、7月時点で再エネ100%へ切り替えを完了いたしました。今後2023年6月までに自社の事業活動におけるカーボンニュートラルを目指し、企業活動内のあらゆる面でCO2排出量の見直し・削減を図ってまいります。当社のカーボンニュートラルを目指した取り組みの流れは以下をご参照ください。

2021年1月

「AZSゼロカーボンプログラム」始動
(LCCO2算出プログラムの開発)

2021年11月

梓設計「気候非常事態宣言」を表明
(2023年6月でのカーボンニュートラル達成目標を宣言)

2022年2月

拠点施設の省エネ化（空調クラウド制御、照明制御など）開始
⇒拠点でのエネルギー使用量のほか企業活動に伴う
CO2排出量の算出、見える化を行う

2022年7月

再エネ100%に切り替え
⇒国内全拠点で使用した電力量（年間約百万kWh）に
相当する「FIT 非化石証書（再エネ由来）」を6月に購入し
再エネ100%へ切り替え



今後1年かけて全拠点での省エネ化、企業活動でのCO2排出量を削減

2023年6月

カーボンニュートラルを達成
⇒企業活動内のあらゆる面において、CO2排出量の削減
努力を行い、最終的には非化石証書、Jクレジットを
購入することにより、実質カーボンニュートラルを達成